

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 5 月 1 日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスるる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	50%	50%	・限られた空間の中で、広く見せることが出来るよう物をあまりおかない等工夫し日々安全面の確保を考えている。	・定員に対して少し狭く感じることもある。 ・少し狭い。 ・放課後等デイサービスのお子さんと空間を日々共有している為安全面に配慮が必要。
	2	職員の配置数は適切である	50%	50%	・令和5年度、職員を増員しよりよい療育の提供に努めている。	・利用数が増え、よりよい療育をするにはまだ少ない。 ・少ない。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	67%	33%	・おもちゃなどを室内の端に配置するなど来所後の導線を確保している。	・トイレなどはバリアフリーではない。 ・トイレに入る際に段差があり、年齢の小さいお子さんや足の弱いお子さんが上り下りする際に負担があるように思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	・お子さんの来所前、ご帰宅後に掃除や消毒をきっちりと行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	33%	50%		・参画していない。 ・しっかりと全職員に共有しているか言われたらできていないように思う。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	83%	0%	・保護者アンケートなどのご意見はしっかりと職員間で共有している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・今年からな為、しっかりと行っていきたい。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	33%	67%		・今後していきたいと思う。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	33%	67%	・今後こまめに行っていきたいと思う。	・研修はない。 ・研修を受けたことがない。 ・研修はあまりできていない。 ・朝の時間などをうまく活用し研修を行っていき、職員の質の向上に努めていけるよう度量くしていきたいと思う。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・保護者との送迎時や面談の時間をしっかりと取りニーズなどを聞いている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	83%	0%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	・一人ひとりのお子さんに合った計画を立てている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	67%	33%		<ul style="list-style-type: none"> ・常勤の少なさから偏りがあるように思う。 ・一人が考えている状況が多い。 ・職員増員に伴い、しっかりとチームで行っていきたいと思う。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	83%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・日々いろいろな経験が出来るように様々な活動を考えている。 	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	83%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズを取り入れ作成している。 	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	83%	0%	・今日来られるお子さんや療育内容や送迎順などを話し合う時間をしっかりと取っている。	・パート職員など帰る時間が異なる職員にはその日のうちに伝えることは出来ていない。だが、次回出勤の際にしっかりとお伝えし情報共有を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	83%	17%		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・その日のうちに記録し共有している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	83%	17%	・きちんと6か月単位で見直しを行っている。	・常勤間や保護者対常勤の間での共有になってしまうことが多いため、お子さんが来所される前の時間に共有する時間を作っていきたいと思う。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・児発管はもちろん、現場職員も参加できる際は参加し、より中身をお伝えできる事業所作りを目指している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	83%	17%		・あまり横のつながりや関係機関とのつながりが新しい事業所の為ない。つながりを作っていける年にしていきたいと思う。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—	・現在医療的ケア児は受け入れていない現状。だが、お子さんの安全面などを確保するために、看護師の資格を持つ者も出勤している。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	・母との面談の際に、るでの様子を書面にしてお渡ししたり送迎時に先生と共有している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	83%	17%		・あまり関わる機会がない。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	33%	67%		・あまり関わる機会がない。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	50%	50%	・長期休暇や休日の利用の際には、外出などで他のお子さんとも出会う機会を提供している。	・直接機会を設けているわけではないが、外出先などで空間を共有し関わることはある。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	67%	33%		・わからない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・送迎時や、連絡帳、事業所のラインなどでしっかりと伝えている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	50%	50%		・行っていない。 ・いずれはペアレントトレーニングの資格を取得し開催したいと思う。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・契約時にしっかりと行っている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	・しっかりと行っている。 事業所で作成した計画書を「学校に持参したい」など、計画書を通してお子さんの共有を行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・連絡帳や送迎時などでしっかりとコミュニケーションを取っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	83%	17%	・半年に一度交流会を予定している。	・需要がある為、もっと開催してもよいのではと思う。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・迅速に対応している方だと思う。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・毎月の予定表を配る、毎月の月末にその月の様子をお配りし中身の見える事業所を目指している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	・鍵付きのロッカーにて保管している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・保護者の方の悩みや不安に寄り添い、利用者とその親がいい関係でいられるよう考えている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	・SAいけだの地域ボランティアの方に毎月お越し頂いたり、学生ボランティアの方にお越し頂いたり、事業所開催のお祭りに近隣の方にお越し頂いたり地域と密な活動を行っている。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	・毎年行っていく予定。	・研修として行った。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	83%	17%		・定期的ではないが行っている。 ・そのため、定期的に行っていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	・契約時にしっかりと聞きし、職員間で共有している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	・アレルギー児の対応として、しっかりと保護者の方と情報の共有をするほか、診断書やアレルギーの数値の用紙のコピーをいただくなど厳重に注意し、食べ物の提供などを行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		・もう少し頻繁に行っていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	・しっかりと保護者の方と共有している。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。